



★ ようこそ、糸井小学校へ ご入学おめでとうございます！

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。それぞれが1学年ずつ進級し、全校児童108名で令和7年度が始まりました。今年の桜の開花は、入学式に合わせるように、まさに今満開となり、新たな一年のスタートが華やかになりました。

入学式は、13名の新一年生を全校生で迎え、緊張しながらも温かな笑顔に、教職員一同、大変うれしく感じました。

保護者の皆様、地域の皆様と連携・協働しながら、地域の宝である「糸井っ子」の育成に教職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。裏面に「学校経営方針」を掲載しておりますので、ご一読ください。



【R7「チーム糸井」のメンバーです よろしくお願ひします】

校 長	〇 〇 〇 〇	教 頭	〇 〇 〇 〇	事 務	〇 〇 〇 〇
養 護	〇 〇 〇 〇	生活指導	〇 〇 〇 〇	ひまわり担任	〇 〇 〇 〇
1年担任	〇 〇 〇 〇	2年担任	〇 〇 〇 〇	3年担任	〇 〇 〇 〇
4年担任	〇 〇 〇 〇	5年担任	〇 〇 〇 〇	6年担任	〇 〇 〇 〇
音・家	〇 〇 〇 〇	理 科	〇 〇 〇 〇	A L T	〇 〇 〇 〇
サポーター	〇 〇 〇 〇	サポーター	〇 〇 〇 〇	サポーター	〇 〇 〇 〇
校 務 員	〇 〇 〇 〇	校 務 員	〇 〇 〇 〇	S S S	〇 〇 〇 〇

※ALT：英語指導助手 サポーター：学びのサポーター SSS：スクール・サポート・スタッフ

★学校の働き方改革について

学校では、教職員が心身の健康やゆとりある時間を確保するとともに、一人ひとりの子どもに寄り添った質の高い教育を提供することができるよう、時代にふさわしい働き方に見つめ直す取り組みを進めています。

学校を取り巻く社会環境が大きく変化している中で、保護者の皆様、地域にお住まいの皆様と学校が、お互いに連携して子どもたちの学びや成長を支えていくことが大切です。

つきましては、現在の学校の状況等についてあらためてご理解いただき、教員の長時間勤務の解消に向けた取組へのご協力を賜りますようお願いいたします。

【具体的な取組】

- ① 勤務時間は、8：00～16：30です。（45分の休憩時間を含みます）
- ② 毎週水または金曜日を「ノー会議デー」「定時退勤日」としています。
月末の金曜日は定時消灯日とし、一斉退勤に取り組めます。
- ③ 時間外については、メッセージ電話並びに「さくら連絡網」で対応いたします。

※ 電話対応時間 平日7：30～17：30

令和7年度 朝来市立糸井小学校 学校経営方針

【学校教育目標】

「ふるさとに学び、地域の未来を創る児童の育成」

～ 糸井地域の絆を深め、豊かな心を育む教育の推進 ～

兵庫県 教育の基本理念

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり
～『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成～

校 是

創造 練磨 調和

朝来市 教育の基本理念

ふるさと朝来で学ぶ 未来を創る人づくり
～豊かな心を育成する地域総ぐるみの教育の推進～

目指す学校像

- ◆明るく元気の挨拶が響きあう学校
- ◆他を大切にできる温かい言葉が溢れる学校
- ◆すべての子どもに居場所のある学校
- ◆地域とともに歩み続ける学校
- ◆児童・保護者・地域住民に信頼される学校

目指す子ども像

- ◆学ぶ楽しさを知り、
自分の考えを表現する子（知）
- ◆自他の命や心を大切にし、
仲間と支え合える子（徳）
- ◆よく遊び、心身を鍛え、
粘り強く取り組む子（体）

目指す教師像

- ◆子どもの成長に生き甲斐を感じる教師
- ◆人権感覚を磨き、
豊かな人間性、感性を備えた教師
- ◆専門的な知識と技術を持ち、
研究と修養で自らを高め続ける教師
- ◆職員の輪を大切に、
組織の一員として協働する教師

【経営の基本方針】

- ★「教える」から「育てる」への指導の転換を図り、子どもたちの主体的な学びを促し、生き生きと活動する学校づくりを推進する。
- ① 学習のねらいを明確にして、学ぶ意欲を高める授業改善を推進し、学びを生かす場面や成果を発表する活動を設定する。
 - ② 学校生活を豊かなものにしようとする態度を育て、子どもの主体的な取組を支援する。
 - ③ 校内外における事故防止、良好な人間関係の形成（子ども対子ども、子ども対教師、教師対保護者）に努め、居心地のよい、安心・安全な学校、学級を創造する。

具体的な方策

- (1) 確かな学力の育成
 - ・予習に重点を置いた家庭学習の充実(TAB 持ち帰り)
 - ・読書活動の充実・習慣化(お話たから箱)
 - ・全国学調の分析による授業及び指導法の改善
 - ・ICT 機器の利活用による「わかる・できる授業」
- (2) 豊かな心の育成
 - ・人権教育・道徳教育の充実
 - ・教育活動全体を通じた道徳的実践力の育成
 - ・地域に根ざした体験活動の推進(糸井チャレンジ)
- (3) 健やかな体の育成
 - ・「体力アップチャレンジスクール」実践研究
 - ・「食育ハンドブック」を活用した食育の推進
 - ・安全意識の高揚を図る健康教育・安全教育の推進
- (4) いじめ・不登校への対応
 - ・学校全体で取り組む組織的な生徒指導の推進
 - ・いじめの未然防止、積極的な認知
 - ・早期発見・早期対応の組織的な推進
 - ・不登校の予防と居場所づくりの充実
 - ・校内サポートルームの整備・活用
 - ・すまいるルーム・関係機関との連携の推進
- (5) 授業のユニバーサルデザイン化の推進
 - ・授業づくりのUD化
 - ・人的環境のUD化
 - ・教室・学校環境のUD化
- (6) 人権教育・特別支援教育の充実
 - ・特別の教科「道徳」による人権教育の推進
 - ・個々の多様な教育的ニーズに応じた教育の提供
 - ・個別的教育支援計画・個別の指導計画等を活用した継続的な指導・支援
- (7) ふるさとに愛着と誇りを持つ教育の推進
 - ・学校運営協議会を中心とした、地域との協働による地域ぐるみの活動の充実
 - ・自然、伝統文化や芸術文化に触れる機会の充実
- (8) 教職員としての資質能力の向上
 - ・教職員としての基本姿勢の確立
 - ・教科の専門性と実践的指導力の向上
 - ・「校内ミニ研修」の定例開催(生活指導・教科指導・ICT)
- (9) 働き甲斐のある学校づくりの推進
 - ・ICT 機器を活用した学校業務のさらなる改善
 - ・定時退勤日(1日/週)、定時消灯日(1日/月)の完全実施

子どもの「3感」…「感謝」「共感」「達成感」

教職員の「3感」…「感性」「使命感」「一体感」